

月刊 新翔タイムズ

第74号 新翔タイムズ 編集室 発行・熊野新聞社

列車内のマナー向上を

生徒たちが佐野駅で呼び掛け



9月17日(水)、JR紀伊佐野駅でマナーアップキャンペーンが行われた。列車内や駅構内での少年のマナー向上を目的に実施された。本校からは生徒会・テニス部・サッカー部の生徒が参加し、警察官・少年補導員・JR職員と共に、マナーアップを呼び掛けた。生徒は午前7時15分に紀伊佐野駅に集合し、あいさつ、マナー指導、啓発物資の配布を行った。中には自主的に駅周辺のゴミを拾う生徒もみられた。参加生徒は「今回の

いじめで次男亡くした市原千代子さんが講演



命の大切さを学ぶ教室

9月2日(火)、和歌山県警察本部・紀の国被害者支援センターの協力により、「命の大切さを学ぶ教室」を開いた。講師は市原千代子さん。講演は市原さんが次男の遺影を抱きながら「一番辛い、悲しいのは本人。本当の辛さは本人しか語れない。私は残された遺族として気持ちを伝えます」との言葉で始まり、次に、長男が生まれてから次の子どもに恵まれず、ようやく授かった子どもであること、幼

「生きて、生きて、生きて、生きて抜いて」

(以降、事件当日とその後については市原さんの目録で記述します)
「人と関わるのが好き」「資格の取れる学校で学び直したい」という夢が、新しい学校への転学が決まった矢先、同級生を含む少年3人が呼び出され、電話に出なかった、日頃の態度が気に入らぬなどの言いがかりをつけられ、殴る、蹴る、川に蹴り落とされるなどの暴行を受けた。動かなくなった次男を見て怖くなった同級生から連絡を受け、病院に駆けつけた時は、集中治療室の中で、意識を失ったままであった。傷だらけの顔、真っ赤に腫れ上がった耳、その後は黒く固まった血がべったりと張り付いていた。意識は戻ることなく、強力な薬で心臓を動かしている状態が一晩続いた。階段を上ったり、下りたり、遠方にいる長男の一刻も早い到着を願ったり、長い夜だ。朝、集中治療室の扉が開き、医師から「自由に出入りができるようになりました」と言われ、その後しばらくして次男は息を引き取った。駆けつけてくれた次男の親友と2人でその体に触れた。温かいのに目を開けていない。息を吐いていない。手を握っても握り返してこない。おかしい。こんなことがあつていいのか。すく横で、親友は大声で名前を呼び掛けてくれていた。やむを得ず承した司法解剖が終わり、次男が自宅に戻った時、その体はドライアイスで冷たくなっていた。
「手を合わせて下さい。握ってみて下さい。温かいでしょう。それが生きていくということなんです。その手を暴力を振るうためにあるのではありません。被害者になることは避けられない時があるかもしれないけれど、加害者になることは避けられません」
普段何気なく使っている言葉が相手を傷つけている場合がある。相手を傷つけなければいじめの加害者です。もし、その子が命を絶てば、取り返しのつかないことになる。生きていくと、辛いこと、悲しいこと、苦しいことがたくさんある。遠慮しないで、周りの人に声をかけて下さい。相談して下さい。周りに相談できない時は、「命の相談」、「チャイルドライン」などの電話相談もある。「助けて」の声をあげて下さい。
次男の死後、ぼつぜんとして、心配して声をかけてくれる人に素直になれない時期があった。この気持ちは誰にも分からない。ただ、葬儀や届けなど、しなければならぬこと

講師プロフィール

市原千代子さん 岡山県在住。平成11年3月、同級生を含む少年3人の集団暴行により、次男(当時18歳)を亡くす。その後、「少年犯罪被害者当事者の会」に参加。平成17年2月には「おかもやま犯罪被害者サポートファミリーズ」を設立。現在は、「子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」と題した講演を開き、全国の中学生・高校生たちに「命の大切さ」や「家族の思い」などを伝えている。



後期生徒会役員決まる 臨時生徒総会で選挙

9月18日(木)に、本校体育館で臨時生徒総会および後期生徒会役員選挙が行われた。臨時生徒総会では、前期生徒会の三役から来年度のホームルーム委員の改正について提案があり、承認された。また、総会終了後、前期生徒会役員三役の後継あいさつが行われ、前期生徒会長の宮内井くんは、「みなさんの協力があってここまでこまごまとめることができました。ありがとうございました」とあいさつしました。その後、臨時生徒会役員選挙が行われ、津希君(生徒会長)、2年1組の岡部未奈さん(生徒会副会長)、2年3組の岡部未奈さん(生徒会副会長)がそれぞれ演説を行った。演者は「もし私が会長になったら、生徒一人一人が積極性をもち、あいさつやコミュニケーションの大切さを学んでいきたい」と意気込みを話した。投票の結果、3人も信任多数により当選し、後期生徒会役員が決定した。

研修発表会

「キャリアアップ計画」の取り組みの総まとめとして、9月21日(月)6限に研修発表会が行われた。インターンシップ、オープンキャンパス、職場見学、防災・救命講習、ボランティア、熊野学講座の各部門から計6人の発表に生徒は耳を傾けた。インターンシップ部門では研修先の苦労や児童との思い出話を、また防災・救命講習部門では楽しい体験談などの発表があった。最後に教頭先生から講評をいただき、発表会を終了した。



職場見学

7月25日(金)に、2年生20人(男子16人、女子4人)が鈴鹿市にある本田技研工業(株)鈴鹿製作所へ職場見学に行ってきた。車を材料から造る工程を学び、また環境への働き掛け(エコ)などについて学んだ。工場内を見学し、製品を作るといことをしっかりと学び、働くことがどういうことかを学べた一日であった。



学校運営の意見聞く 第1回学校評議員会

9月18日(木)本年度の第1回学校評議員会を開催した。この会は、学校運営などについて学校外の有識者から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資することにも地域や社会に開かれた学校づくりを一段推進し、学校が家庭や地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を展開することを目的に定期的に行っている。授業を参観した後、本年度の進路希望

9月18日(木)本年度の第1回学校評議員会を開催した。この会は、学校運営などについて学校外の有識者から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資することにも地域や社会に開かれた学校づくりを一段推進し、学校が家庭や地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を展開することを目的に定期的に行っている。授業を参観した後、本年度の進路希望

